

センサーと遠隔警告灯で冠水を即時通知！車両被害ゼロを目指す浜名区のスマート防災

Digital Smart City
HAMAMATSU

1. 事業概要

- ・近年、短時間豪雨の頻発化に伴い市内各所で道路冠水が発生。
- ・冠水発生の把握は、市民等からの通報に頼っており、発生後の交通規制対応に時間を要することが課題となっていた。
- ・このため、道路冠水が頻発している浜松市浜名区内において、冠水センサーを設置し、冠水発生をメール通知により即時把握することに加え、冠水箇所の手前交差点付近に設置した遠隔警告灯により、冠水箇所へ進入してしまった車両が故障・立往生することで規制解除が遅延するのを防ぐことを目的とした「道路冠水情報提供システム」を民間業者と開発した。



2. 有効性・先進性・波及性

- ・既存の冠水検知システムは、冠水センサーと警告灯は有線接続が主流のため設置距離に制約があるが、本システムはクラウド連携のため設置距離の制約がなく、冠水発生箇所よりも離れた場所へ警告灯を設置して注意喚起が可能。
- ・冠水センサーと遠隔警告灯をクラウド連携させ自動点灯・消灯を可能とし、操作に掛かる職員の負担を軽減。
- ・5cm冠水した段階でメール通知により冠水発生を把握し、職員や委託業者が早期に交通規制等の対応が可能。
- ・設置費用が安価であり他自治体でも導入しやすい。